委員会審査

6月定例会で委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務企画委員会

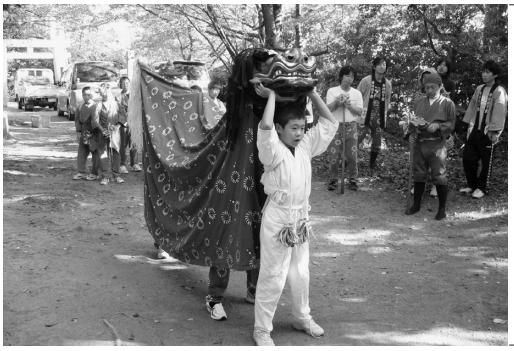
委員長　安川哲生

◆コミュニティ助成事業補助金について

問　申し込み状況等について

答　今回は田口・東大洲地区、並びに今坊地区の伝統芸能活動に対し、必要な用具の整備に係る経費を支援するものである。このコミュニティ助成事業は全額補助の有利な事業であり、申し込まれても順番待ちになる可能性がある。一方で、がんばるひと応援事業で実施することも可能であるが、1割の自己負担が必要であり、新たな事業として取り組む場合に限られる。

意見　大谷文楽など市内各地区に古くから継承されている貴重な歴史・文化を保存し、それらを起爆剤に地域の活性化を図るため、演技を披露する機会が増えるよう市内外でPRに努められたい。



長浜町今坊地区の獅子舞

◆災害関係について

問　「えひめ愛顔の助け合い基金」について

答　東日本大震災の被災者を支援するため県が設置するもので、災害ボランティア活動支援や被災者受け入れの支援、被災地の児童生徒への支援などに活用される。

問　備蓄物資管理について

答　防災センターと各支所に備蓄物資を配備している。今後は地域住民に一番近い自主防災組織で配備する方法なども含めて体制を整えたい。

防災センター

◆請願第17号『核兵器全面禁止・廃絶国際条約締結を求める意見書』採択についての請願

意見　唯一の被爆国である日本は、核兵器廃絶に先頭に立って行動する責務があるとして、核軍縮・核不拡散の取り組みと、実効性のある査察体制の確立を積極的に進めるべきとしていることなどから、既に願意を満たしている。

審査結果　不採択

厚生文教委員会

委員長　水本保

◆地産地消推進事業について

問　供給体制について

答　JA、県、生産者組織と協議のうえ、過去の食材の使用・出荷状況の実績データを分析し、体制整備の準備を行っている。また、生産者組織「愛たい菜」と給食センターとの連絡が迅速に対応できるシステムを構築し、地域の生産者グループに補完していただくという形態も一つの方法であり、食材の安定供給に向けて今後具体的な協議に入りたいと考えている。

◆外出支援サービス事業について

問　目的と利用状況について

答　当事業は、閉じこもりを防ぎ、健康で明るい生活を支援するため、65歳以上の方と障害者を対象として、肱川町の各地区から病院、買い物等に無料で利用していただく事業であり、平成22年度は、年間2、191人の方が利用されている。

外出支援サービスを行う「健康行きバス」

産業建設委員会

委員長　福積章男

◆環境保全型農業直接支援交付金について

問　交付対象及び条件について

答　販売を目的として生産を行い、農業環境規範